

2019 山岳スポーツ振興事業プロジェクト・・事業報告

● 「2019MHC 登山講習」と報告写真展 (2018年5月～2019年3月) 松本市共催

・事業目的

現在、北アルプス等を初めとする日本の山々では、中高年登山ブームから、若人の関心を集める幅広い年齢層による市民登山の時代が到来しています。

この市民登山の時代を迎え、山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病対策やレスキューの方法、そして山に咲く高山植物や、山岳撮影のテクニック等を優れたインストラクターより学び、「安全でより楽しい登山」とする学習の場が求められています。

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会(MHC)では、市民参加の山岳スポーツ振興事業として、山岳遭難を未然に防ぐことも願い、「安全でより楽しい市民登山」とするために、**ヒマラヤ等高所登山経験豊富な講師の指導**により、系統的に登山技術を習得し、山岳の知識と登山の楽しさを学べる市民参加による「2019MHC 登山講習」を開講。



6月写真撮影会 写真撮影レンゲツツジと残雪乗鞍岳 7月夏の槍ヶ岳 7月紅葉の八ヶ岳縦走

受講者は優れた登山技術を習得することで、あらためて**安全登山についての認識**を深めて頂き、山岳に対する豊富な知識と経験を積んだ**愛好家として、また登山パーティーのリーダーとしても**養成されていく事でしょう。

この企画を実施する事で、**長野県の美しい山岳**があらためて認識され、幅広い年齢層による市民登山が「安全でより楽しい登山」となる事を心より念願しております。



10月上高地 散策

11月新雪の常念岳

スノーシューで行く上高地・乗鞍高原

しかし、これらの事業は、2019年10月2日(木)～6日(日)に、2020松本駅前井上デパート本店7階大ホールにて、「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」中部山岳編として事業報告写真展として、開催予定でしたが。講師の鈴木理事長の心不全による体調不良や写真家内田良平さんの病死により、登山講習中止となりました。

そこでカトマンズ・ヒマラヤ編として開催の運びとなりましたが、一般市民の皆様には姉妹都市カトマンズやネパールヒマラヤの大自然や登山への関心を深めてもらうことが出来たことでしょう。

・事業内容・実施方法

○2019MHC 登山講習・講師の体調不調、又は死亡の為下記赤字は中止

1) 登山説明会

①5/9、MHC 記念館において登山の注意と心得について説明会を開催

②7/4,9/7MHC 記念館にてスライド映像を駆使し、同上説明会を開催

2) 青少年・市民一般登山講習

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 花の奥上高地 5/19～5/20 | ⑦ 富士山登山 8/24～8/25 |
| ② 初夏の唐松岳 6/30～7/1 | ⑧ 南ア甲斐駒ヶ岳 9/7～9/8 |
| ③ 夏の槍ヶ岳 7/13～7/15 | ⑨ 奥穂高岳登山 9/14～16 |
| ④ 八ヶ岳縦走 7/27～7/28 | ⑩ 秋の焼岳・上高地散策 |
| ⑤ 白馬三山縦走 8/10～8/12 | 10/20～10/21 |

3) 山岳写真教室

①. 6/8～6/9 写真教室講師内田さん病気療養のため中止としたが、この写真教室を主宰してきたMHC 鈴木理事長が撮影指導を行い、有志写真撮影会として開催。参加費は無料とした。

4) 初心者雪山登山(青少年・市民一般登山講習と重複)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| ①. 残雪の常念岳 5/3～5/4 | ④. スノーシューで行く冬の上高地 2/15～16 |
| ② 新雪の常念岳 11/2～11/3 | ⑤. 白銀の硫黄岳 3/8～9 |

5) ザイルワーク・レスキュー訓練

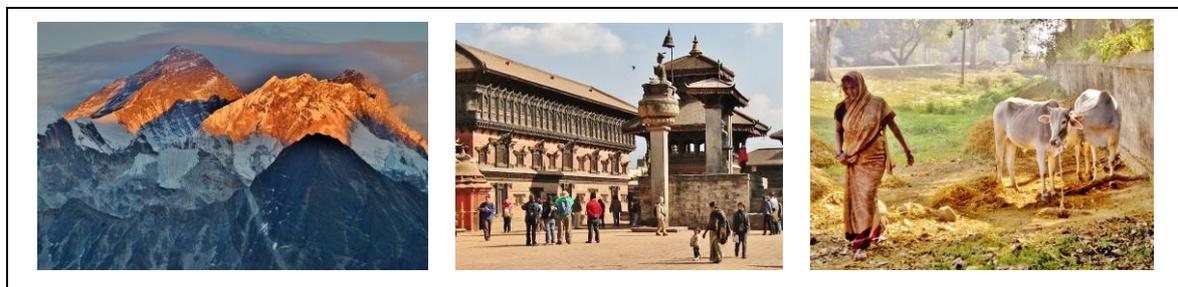
上記 2) 青少年・市民一般登山講習の中で指導。この訓練も中止ザイルを实际使用し、結び方、操作、レスキューを覚えます。

6) 2019MHC 登山講習報告「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」

先の理由で登山講習報告写真展は中止としました。

会場 松本駅前井上デパート本店 7階大ホール

期間 2019年10/2日(木)～6日(日) 一カトマンズ・ヒマラヤ編一・松本市・松本市海外都市交流委員会後援として実施。パネル写真の展示約120点。他作品30点 審査員内田良平さん7/1ご逝去された為、この写真展を主宰してきたMHC 鈴木理事長が代わりに、監修、審査を行い、各賞を厳選して開催。



松本市長賞 エベレストの夕景 市民タイムス賞 信仰の町バドガオン MG プレス賞 サリーの農夫とウシ
 撮影 大村裕 撮影 折野和富 撮影 種田敏子

「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」は、2019MHC 登山講習報告を中止とし、松本市・松本市海外都市交流委員会後援 松本市カトマンズ市姉妹提携 30周年記念として、一カトマンズ・ヒマラヤ編一を開催。2019.10/2～10/6 井上デパート 7F

7) 松本市カトマンズ市姉妹提携 30 周年記念事業

「エベレスト・パノラマ撮影紀行とカトマンズ訪問」と報告写真展

・・松本市・松本市海外都市交流委員会後援

期間 2020.1/4~1/13 10 日間、料金一人 315,000 円、ヘリコプター別途料金

主催 NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 ネパール旅行手配 現地エイジアン・トレッキング

※参加者は、市民ら総勢 13 名、2019MHC 登山講習において、親睦、体力調整、登山の注意と心得を学んだ。実施講習・奥穂高岳登山、新雪の常念岳 **事業報告写真展は、中止とする。**

※写真展開催は、参加者の作品から、鈴木理事長が審査を行い優秀作品には、松本市長賞、カトマンズ市長賞、各後援マスコミ賞として表彰し、姉妹提携 30 周年記念を盛り上げた。



カトマンズ市役所表敬訪問



街道を行く

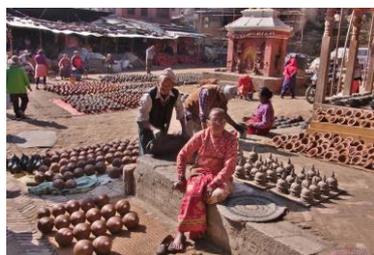


エベレスト山群の夕焼



2020.1 井上会場写真

「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」も 2 回目の 2019MHC 登山講習報告を中止とし、松本市・松本市海外都市交流委員会後援の松本市カトマンズ市姉妹提携 30 周年記念事業として、一エベレストパノラマ撮影紀行とカトマンズ訪問編一を開催。2020.2.21~2.25 井上デパート 7F



松本市長賞 願いを込めたプロローグ カトマンズ市長賞 人々の営み 朝日新聞長野総局長賞 頂の夕映え
撮影 牧田英明 撮影 佐藤 明 撮影 中村由可里

○講師・スタッフ



① **写真講師 内田良平**・・日本を代表する山岳写真家。1936 年横浜市生まれ。山岳写真多数発表。主な作品に「エベレスト街道」「カトマンズ百景」「アンナプルナ周遊」「上高地」「日本百名山」「ヒマラヤ 50 峰・岩雪氷雲そして光」日本山岳写真集団同人、日本山岳会々員。MHC 会員、惜しまれながら 2020 年 7/1 ご逝去されました。享年 83 歳。



② **登攀指導と写真指導 鈴木雅則**・・登山講習の責任者、1950 年東京品川区生れ。松本市と姉妹都市ネパール首都カトマンズとの市民交流を進め、姉妹提携以来 30 年の間に、延べ 370 余名の市民を引率する。ヒマラヤトレッキングでは 5400m~6500m のピークへ延べ約 160 名を登攀隊長として登頂成功に導く。安全登山に多くの実績を持つ。

作品「上高地の美しい自然と槍穂高連峰縦走」「ヒマラヤの青い空とカトマンズ」両作品とも、**県立長野図書館、松本市中央図書館の蔵書**となり、閲覧することができます。

2019 年度役職：MHC 理事長 松本市海外都市交流委員会副会長、カトマンズ部会長 公益社団法人日本ネパール協会理事、長野県支部長

③ **MHC 山岳委員**・・MHC ヒマラヤ高所 4000m~6500m 登頂経験者、又は登山熟達者
上条賢介、内山康翁、甕 俊昭、大村裕、種田敏子、小松祐次
今村康子 斉藤正仁 寺島弘高 折野和富 江原孝史 荒井初彦

※親睦登山及び登山研修の時には、積極的なアドバイス、サポートをお願いいたしました。

事業の効果 MHC 登山講習参加者は、山の装備、山の登り方やレスキューの方法などの**登山技術**、山岳撮影技術や高山植物などの**知識**、行動食や水分、高山病対策などの初歩的な**医学栄養学**の初歩的知識も得て、安全登山についての認識を深めたこと、思われる。

MHC主催、松本市・松本市海外都市交流委員会後援、松本市カトマンズ市姉妹提携30周年記念事業「エベレスト・パノラマ撮影紀行とカトマンズ訪問」事業について・・・参加者には、体力調整、チームワークづくりなどとして、⑨奥穂高岳登山 9/14～16、新雪の常念岳 11/2～11/3 に参加していただき、登山の注意と心得を学んでもらい、お陰様で、皆で助け合い、協力し合う体制づくりができ、成功裏に終了する事できました。

MHC主催、松本市・松本市海外都市交流委員会後援、松本市カトマンズ市姉妹提携30周年記念事業「エベレスト・パノラマ撮影紀行とカトマンズ訪問」事業は、2020年1月4日～2020年1月13日までの日程で松本市民を始めとする参加者12名とMHC鈴木理事長を加えた総勢13名により実施致しました。

事業は、日程通りに進み、1/5 カ市表敬訪問、カトマンズのサキヤ市長、公務により不在のため、出迎えた秘書室幹部へMHC鈴木理事長より、菅谷昭松本市長のメッセージを手渡し、又姉妹提携30周年の記念挨拶もさせていただきました。カトマンズ秘書室幹部、国際部長らからも、末永い交流発展を願うスピーチを頂きました。



カトマンズ市役所へ表敬訪問する

1/6からは、エベレスト街道タンボचेまでのエベレスト展望撮影紀行、ヒラリースクールクムジュン校慰問など、実施。1/11 帰還後のカ市への報告、1/12 将来を担う、カトマンズの大学へ通う勤勉生らを支援するMHC奨学生への激励会も行い、全てのスケジュールを消化してまいりました。



カトマンズMHC大学奨学生を激励

1/11、クムジュン村へ帰還したこの日、エベレストの夕焼を撮影しに村の東斜面に建つ、ヒラリーチョルテンの丘に登ることにする。そこはエベレスト山群の好展望地だ。この日期待通り、世界一のエベレストは夕陽に染まり、雪煙を吹き飛ばし、堂々と聳えるその気高い姿を、現していた。私たちはいつまでも見つめ続け、「ありがとう！、また会いに来るよ」と心に誓う。陽が西の空に落ちて、上空は余韻を残すように、薄桃色に染まっていた。



エベレスト山群の夕焼に感動する

カトマンズは懐かしい街だ。1/11 ヘリコプターでヒマラヤから帰還する、汚れて、疲れている私たちを、宿泊ホテルでは、優しく迎え入れてくれる。預けた荷物を受け取り、各自の部屋で身体の疲れを癒す。その日の夜、MHCネパール支部主催の報告晩さん会に出席する。カ市部長、MHCネ支部会員や、今回のトレッキングのスタッフ手配をしてくれた、会社社長で、ネパール山岳協会会長アン・ツェリン・シエルパも出席して、私たちを慰労し、祝福してくれた。



つり橋を渡るヤク エベレストローツェの展望 迎えに来たヘリコプター 夕照に輝くエベレスト